04 商品開発・販売

北海道松前町　山下　実代子

商品開発・販売

～　まちの未来を一緒につくる仲間を募集！　～

基本情報



【年　齢】
３９歳
【出身地】
兵庫県神戸市
【転出元】
兵庫県神戸市
【前　職】
保育調理師
【活動時期】
R7.4～R10.3

協力隊に応募したきっかけ

「お試し地域おこし協力隊」で初めて訪れた北海道松前町で、自然の美しさと人の温かさに触れ、松前町に息づく暮らしや自然を継承したいという想いが芽生えました。これまでに培ってきた保育士としての経験や、調理師としてのスキルを活かしながら、松前町の課題に向き合い、未来へつながる活動を始めたいという気持ちから応募いたしました。

今後の抱負･任期後の目標

今後は、「食」を通じて町の課題解決に取り組んでいきたいと考えています。空き家や耕作放棄地を再生して人が集える場所づくり、また地域の特産品を活かした商品づくりを通して町と人の健康を支えることを目指しています。

活動内容

●地域の素材を活用したグルメ開発

地域を代表する桜と昆布に着目し、桜の中でも濃い紅色が特徴の「関山」の花びらを摘み取り塩漬けにしたものと、松前産の昆布から酵母菌を取り出したものをパン生地に使用するなど新商品の開発に取り組み、そのお披露目として週１回のマルシェを開催しています。



●保育士の経験と調理師のスキルを活かした食育支援

保育士としての経験と調理師としてのスキルを活かし、町立保育所での食育活動を支援しています。松前で採れたアワビを使ったカレー、クッキーづくりなどの体験を行うほか、教育委員会主催のハロウィンイベントにも参画し、子どもたちと一緒に地域の食や文化に親しむ活動を続けています。



●イベント出展による食を通じた観光PR

新商品を持ち込み、食を通じた観光PRにも取り組んでいます。札幌市で開催された「大ほっかいどう祭」では、松前漬けを使ったチヂミを提供し、松前漬けの利用方法を提案し、その新たな活用方法を提案しました。東京都で開催された「移住フェア」では、移住者の立場から見た松前町の魅力をPRしています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））jobstation.tanaka@gmail.com
（電話番号（職場））0139-46-7560
【活動の様子を発信しているSNS（Instagram）】
（松前町地域おこし協力隊）
https://www.instagram.com/matsumae_chiikiokosi/

岩手県九戸郡洋野町　WONG YIK TO（ウォン　イェトゥ）

商品開発・販売

～　食を通じた地域貢献　～

基本情報



【年　齢】
36歳
【出身地】
香港
【転出元】
岩手県盛岡市
【前　職】
大学生
【活動時期】
R5.4～R8.3

協力隊に応募したきっかけ

岩手大学に在学中、東北の豊かさを知りつつ、東北へ訪れる香港人が少ないことを知り、香港・台湾の方を誘致したいという話をアルバイト先の岩手県国際交流協会の職員に話し、その方に地域おこし協力隊という制度を教えていただいた。また、私は都市から離れて海に近い場所に住みたく、洋野町の地域おこし協力隊に応募した。

今後の抱負･任期後の目標

香港の味を含めたレストランのレシピ・特産品を商品化させたり、町民に香港の料理を知ってもらうことを目標にしたい。

洋野町と香港のつながりとして、町の地域活性化をしながら、香港・台湾の方に洋野町及び東北６県を巡りに来てほしい。

活動内容

●食を通じた交流

・香港一般家庭が食べられている料理の教室を開け、文化・調理方法の違いを交流し、香港の料理を町の方に喜んでいただく。



●町内の飲食店と商品開発、メニュー翻訳

・香港料理のレシピを町内のレストランにアプローチし、店での提供可能性を探りながら、町の活性化を図る。
・町内飲食店のメニューを繁体字に翻訳する。



●洋野町の情報発信

・外国人という立場から感じた洋野町の魅力をSNSで発信する。日本人だけではなく、海外の観光客が洋野町に訪れてもらえるように工夫する。



連絡先

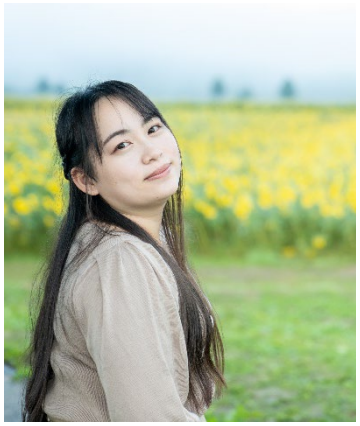
【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））tominnippon@gmail.com
（電話番号（職場））　0194-66-8870

福島県郡山市　菅井　恵美

商品開発・販売

～　郡山の「おいしい」をえみたろが全国へ発信！　～

基本情報



【年　齢】
29歳
【出身地】
東京都江戸川区
【転出元】
東京都江戸川区
【前　職】
都内区立保育園　栄養士
【活動時期】
R2.6～R7.11

協力隊に応募したきっかけ

これまで福島へ行ったこともありませんでしたが、郡山市出身の友人をきっかけに連休のたびに郡山市へ遊びに行くようになりました。行き来を重ねるうちに友人知人が増え、東京での仕事もひと段落つきそうだというタイミングで郡山市内に住む知人から「地域おこし協力隊」をご紹介いただきました。東京へ帰ってくるたびに人の多さや電光掲示板などの視覚的情報量の多さにストレスを感じていたこと、新たな土地で自分のスキルが活かせる仕事がしたいと考えるようになり、応募を決めました。

今後の抱負・任期後の目標

R7年11月いっぱいをもって任期満了となりますが、協力隊活動を通して出会った多くの地元の方々からありがたいことに「任期後も郡山にいるんだよね？」とお声がけいただきます。
任期後は協力隊着任1年目に興した組織で市特産品「鯉」を活用した6次化商品「鯉とば」「Carp Leather」の開発や移住定住促進事業、子育て支援事業を引き続き取り組んでいきたいと考えています。そのほか、ご縁があり市内高校の探求学習でもお手伝いとして関わらせていただく予定です。

自身の経験やノウハウを事業として展開し、任期後も郡山市にとって還元できるような活動に取り組んでまいります！

活動内容

●地域の「食」をテーマにイベント開催！



R6.7月「こおりやまサマーナイトマルシェ（来場者1,200人）」、R6.9月「こおりやま秋のパンまつり（来場者4,500人）」を開催しました。郡山市内や周辺市町村の飲食店や地域おこし協力隊の皆様にご出店・ご協力いただいたこともあり、大勢の方に足を運んでいただけたイベントとなりました。それぞれテーマを設け、色々な角度から「郡山の食」をPRしたイベントとなりました。

●YouTubeを活用したPRも力を入れています！



郡山市や周辺市町村の情報をYouTubeで発信しています。地元飲食店やローカル商品の紹介、田植え体験、地元バスケットボールチームへの取材などを行っています。「**えみたろ**」の愛称で地元の方々にも覚えていただき、イベントなどでも視聴者の方からお声がけいただくほどになりました。

動画投稿本数：112本 ／ チャンネル登録者数：1,260人

●県外高校生や市内移住者・高齢者との交流・地域振興に関する講話

自身の移住経験や協力隊活動、個人の活動について市内移住者向けや高齢者、県外の高校生にも伝えています。今年度は埼玉県にある城北埼玉高等学校フロンティアコースの生徒47人に市内の鯉養殖業者にて鯉の養殖風景を見学したり、鯉を使用したワークショップなどを実施し郡山市のPRを行いました。
今回の城北埼玉高等学校については自身が受講していた研修をきっかけにお声がけいただき、今回のご縁に繋がりました。



R6年4月　高齢者大学「あさかの学園大学」OBOG会
R6年7月　転入者女性向け事業「はやまーゼ教室」
R7年10月　城北埼玉高等学校フロンティアコース

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））emi.s@fukushima-local.com
（電話番号（個人））080-9261-9958

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（個人Instagram）
https://www.instagram.com/emi___taro

協力隊 Instagram　協力隊 YouTube

長野県塩尻市　竹内　桜咲子

～　木曽漆器職人見習い　～

商品開発・販売

基本情報



【年　齢】
26歳
【出身地】
福岡県那珂川市
【転出元】
福岡県那珂川市
【前　職】
漆器製造会社勤務
【活動時期】
R5.10～（3年目）

協力隊に応募したきっかけ

・もともと漆器に興味があり、伝統工芸の専門学校（専攻：漆工芸）に進学し、漆器職人を目指していた。
・専門学校時代に塩尻市の漆器工房にインターンシップで訪れており、当時から木曽漆器に興味を持っていた。
・前職の漆器産地は徹底した分業制だったこともあり、職人として下地から仕上げまでの技術習得をしたいという思いから、別の産地での修業を検討していた。
・漆器の魅力を同世代に広めていきたいという思いがある。

今後の抱負・任期後の目標

活動期間中は、師匠となる産地の熟練職人から漆塗り技術を学び、漆器製造の一連の基本技術を身に付けるべく研鑽を積んでいきたい。また、日々の活動や木曽漆器に関連する情報発信を通じて、木曽漆器の認知度向上や同世代へのPR役割を担っていきたい。

任期後も定住し、一人の木曽漆器職人として産地の仕事をしながら自分の作品も作っていくことで、産地の後継者となることを目指す。

活動内容

●国指定伝統的工芸品「木曽漆器」の技術習得

木曽漆器産地の「職人の高齢化」「後継者不足」「技術継承」といった課題解決のため、産地の卓越した技術を持つ熟練職人のもとで、下地から仕上げまで一連の漆器製造技術の習得を目指す。



●木曽漆器の認知度向上のための情報発信

・日々の修業の様子をSNS発信で情報発信
・漆器の製造工程や技術を紹介する動画制作



●地場産業振興のためのPRイベント参加

市のブランド発信のための県外イベント等に参加し、漆塗りの実演や来場者に木曽漆器の魅力を伝えるアテンド等を行う



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場））bamboonosato_19@yahoo.co.jp
（電話番号（個人or職場））080-9051-0884

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.instagram.com/kisoshikkicooperator_/

長野県中野市　上山　讃美

商品開発・販売

～　もっと中野市の農業をPRし隊　～

基本情報



【年　齢】
38歳
【出身地】
東京都大田区
【転出元】
東京都大田区
【前　職】
幼稚園教諭
【活動時期】
R７.9.1~

協力隊に応募したきっかけ

先に隊員であった入江隊員とご縁があり、協力隊の存在を知りました。中野市とのご縁は、2年前に志賀高原でリゾートバイトをしたことがきっかけで生まれました。昨冬シーズンには、中野市内のスーパーやパン屋、飲食店など、さまざまなお店を巡りました。そして地域の魅力にふれるたびに『もっと中野市のことを知りたい』という思いが強くなっていき、移住を考えていたところで、協力隊のお話をいただき縁を感じ、応募いたしました。

今後の抱負･任期後の目標

関東圏はじめ、日本各地にて中野市産農産物のイベントを中心とした活動を通して、実は身近にある中野市を知っていただきたいと考えています。また、市内の農家さんと交流を増やし、私にできること、考えられることを形にしていけたらと思います。任期後は、協力隊として形にできたイベントなどに取り組みながら、引き続き中野市の魅力を発信する立場でいたいと考えています。

活動内容

●籾摺りイベント

東京の住宅展示場にて、小学生以下の親子の籾摺り体験実施。来場者と中野市で収穫された『風さやか』の稲を使用し、お米を作るまでの苦労を体験しながら一粒一粒の大切さを実感していただきました。



●中野市豊田農産物加工施設

中野市豊田農産物加工施設でのお手伝いを通して、地域のことを学び、貴重な交流の時間を持つことができました。今後は、皆さんとお話を重ねながら、若い世代につながる活動や商品作りを考えていきたいと思います。



●ぼたんこしょう保存会

ぼたんこしょう保存会では、収穫やカット作業のお手伝いを通して、保存会の皆さんが信州伝統野菜ぼたんこしょうにかける想いに触れることができました。まだ知らないことも多いですが、今後も皆さんと共に活動しながら、できることを考えていきたいと思います。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（個人宛メールアドレス）sambilish4869@gmail.com
（携帯電話 ）080-6738-5962

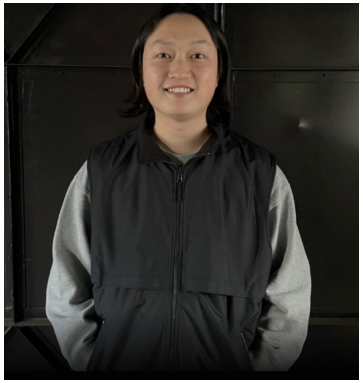
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
InstagramID：SHINSHU__NAKANO__KYOURYOKUTAI

三重県いなべ市　日下部　真太郎

商品開発・販売

～　グリーンクリエイティブいなべの推進　～

基本情報



【年　齢】
29歳
【出身地】
三重県桑名市
【転出元】
埼玉県三郷市
【前　職】
アパレルメーカー
【活動時期】
R5.10～R8.9

協力隊に応募したきっかけ

当時東京でアパレル業界に携わる仕事をしており、地元である三重県で独立を考えていたところ、いなべ市が展開する「グリーンクリエイティブいなべ」の理念に基づく活動を知り、地域おこし協力隊としての活動に興味を持ち、問い合わせをしました。

東京⇔いなべ市間でリモートでの情報交換、打合せ等を重ね、応募させていただきました。

今後の抱負･任期後の目標

自宅倉庫を改修し、令和７年7月末にオープンした活動拠点【オオイズミスペース】を、より大きく認知を広げていきたいと思っています。商品開発・ブランド開発を軸に、三重県全体のPRに繋げていけるような仕掛け・取り組みを増やしていきたいです。

活動内容

●「にぎわいの森」の活用

いなべ市役所に隣接する商業施設「にぎわいの森」を活用し、ファッションとコーヒーをテーマにしたマルシェイベント【衣琲ノ森】を主催しました。いなべ市に市外からの誘致・新しい客層の獲得を目的とし、にぎわいの森への多くの来客に繋げることができました。



●県外へのPR促進

いなべ市内の事業者＋グリーンクリエイティブいなべ合同での物販イベント【THE INABE STAND】を企画し、京都嵐山で物販・市内拠点PRをおこないました。また、2ヶ月間市内事業者のフライヤーを取りまとめ、京都大阪のカフェ2拠点に設置・POPUPを行いました。



●【オオイズミスペース】の設立

いなべ市内にショップ機能・プロダクト機能を持つ事務所として【オオイズミスペース】を設立しました。三重県を中心とした日本の様々な「衣食住」をコンセプトにしております。

様々な商品開発に携わっていけるようサンプルや生地見本を豊富に取り揃えており、現在進行形で様々な案件を取り扱っています。ここを拠点に、よりよい商品開発でいなべ市に貢献できるよう活動していきたいと思っています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場））oizumispace@gmail.com
（電話番号（個人or職場））080-3680-4565

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/oizumi_space/

三重県尾鷲市　安藤　範子

商品開発・販売

～　都市部における九鬼の水産物の高付加価値化　～

基本情報



【年　齢】
５３歳
【出身地】
三重県桑名市
【転出元】
東京都渋谷区
【前　職】
NHK「ためしてガッテン」
料理担当
【活動時期】
R６.２～R９.２

協力隊に応募したきっかけ

移住マッチングサイトで自分ができそうな内容を見つけたのがきっかけ。その後、九鬼漁村に下見に来た時に場所に惚れ込み、多くの方々に知ってもらいたいと思ったから。

活動内容

●紹介①「東京で尾鷲・九鬼の魅力を発信」

尾鷲市や九鬼漁村を紹介するイベントを開催し、地域の魅力を伝えています。

●紹介②「九鬼の魚を東京に届ける」

九木漁港に水揚げされるブリをはじめ、「食べて知ってもらう」機会づくりに取り組んでいます。

●紹介③定置網漁業と漁師の仕事を発信

海の資源を活かしながら漁を続ける「定置網」の魅力と、漁師の知恵や仕事を伝えています。

今後の抱負・任期後の目標

九鬼漁村にある自然、歴史、文化、人の知恵や暮らしを「ここでしか得られない価値」として届け、住民の仕事と九鬼の暮らしを未来につなぐ地域経済作りに挑戦します。

連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

●Instagram：Ishikawanoriko25

●Facebook：石川　範子

岡山県倉敷市　鋤本 浩一

商品開発・販売

～　次世代モビリティ産業創出促進活動　～

基本情報



【年　齢】
７４歳
【出身地】
山形生まれ、大阪育ち
【転出元】
東京都板橋区
【前　職】
会社員
【活動時期】
R５.４～R８.３

協力隊に応募したきっかけ

次世代モビリティサービスの産業創出と地域活性をテーマとして活動することに興味を抱いた。定年退職まで勤務した製造業で、製品企画、事業計画、渉外、広報、マーケティング、BtoBの直販営業、BtoCの販売代理店網構築、新規市場開発、アライアンス事業推進で得られた人脈、現場経験を生かせる活動の場を得られることに魅力を感じた。

今後の抱負･任期後の目標

2028年以降のサービス開始、普及を睨んだ地域ビジネス創出に役立つ活動を継続していきたい。

活動内容

●空飛ぶクルマの地域実装支援

保有する実機を用いた実証デモフライト、展示説明紹介、ワークショップ、講演、各種団体との連携、市場動向情報収集、各種イベントへの参加等により、地域における住民理解、ビジネス創出の可能性を訴求。2028年以降の事業開始に向けて活動



●くらしき空飛ぶクルマ展示場運営（館長職）

空飛ぶクルマ実機を展示、試乗、デモフライト実績を映像で紹介、フライトシミュレーターによるフライト体験、資料展示、会議室、セミナー室を利活用して来館者に対応、「サイエンスとアート」を基本テーマとする各種プログラムを開発、実行



●高梁川志塾参加、全国自治体、商工会議所、関連諸団体との連携促進

高梁川流域経済圏も含む瀬戸内での空飛ぶクルマのコリドーづくりを目指した域内広域連携を促進すべく、中四国関西九州地域の自治体、商工会議所、個社・団体との連携を促進



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場））sukimoto@masc-jp.com
（電話番号（個人or職場））080-4208-4475
【活動の様子を発信しているSNS】Facebook, Linkdin
（一般社団法人MASC）https://masc-jp.com/

高知県四万十町　片岡　宏樹

商品開発・販売

～　四万十町と全国を繋ぐ！しまんとリバーストアの挑戦　～

基本情報



【年　齢】
40歳
【出身地】
大阪府大阪市
【転出元】
神奈川県川崎市
【前　職】
お米の産直ECサイト
【活動時期】
R5.12～R8.12

協力隊に応募したきっかけ

前職にて、全国のお米産直ECサイトを運営しており、全国各地の様々な産地や農家さんと触れ合う中で、地域産品の素晴らしさを知り、その内容を発信する事業を行いたい、と考えておりました。
自身で事業展開を考えていた際に、四万十町で産直ECサイト（しまんとリバーストア）の募集があり、自身が描くビジョンや四万十町の先見性に共感し二人三脚で協力し歩んでいければと考え応募いたしました。

今後の抱負･任期後の目標

しまんとリバーストア事業自体の目標「自立運用化」が短期目標として存在しているため、そこまでのプランニングを構築し、実現に向けて動いていきます。
任期後の目標としては、上記自立運用の成功を軸とした上で、四万十町全体の事業者・生産者と関わっている利点を生かし、町自体の活性に繋がる事業（観光・産品開発・インフラなど）の新たな可能性を生み出していき、相乗効果がある事業展開を行っていきたいです。

活動内容

●ECサイト完全リニューアル、広告運用強化、など

着任よりサイト運営全体の見直し・構築を行いR6年4月に完全リニューアルオープン。
マーケティング強化、購入導線の組み立て、CP施策や産品訴求の広告運用の方向性提示など様々な方向から四万十町の魅力発信や売上向上につながる施策を行いました。



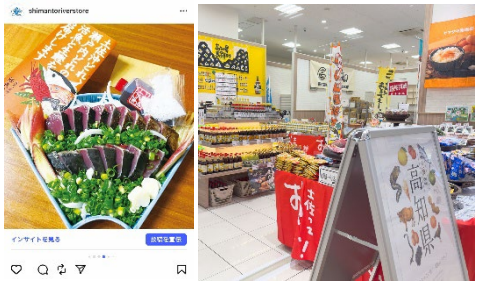
●売上改善、生産者ブランドの確立

R6年度売上として前年比約1000%の売上改善を行い、R7年度の推移としても約半年でR6年度を超える売上に到達。生産者・産品自体の希少性や唯一性をブランディング、訴求することで差別化を図りました。今後はより認知度を上げ、導線の強化に取り組みます。



●地域性発信とリアルイベントへの取り組み

地域性発信としてSNS等の運用も行い、生産者や産品、町の魅力などを発信。
そのほか、ネット販売のみではなく、催事出品など、リアルへのアプローチも行い、異なるターゲットを開拓。それぞれ融合することで相乗効果を図ります。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））info@shimantoriver.com
（電話番号（職場））0880-22-2011（9:00～17:00）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
しまんとリバーストア（ECサイト）https://shimantoriver.com/
ECサイトInstagram　https://www.instagram.com/shimantoriverstore/

鹿児島県伊佐市　山﨑　恵

商品開発・販売

～伊佐の魅力を発掘し、新しい価値を創造する！～

基本情報



【年　齢】
45歳
【出身地】
大阪府大阪市
【転出元】
大阪府羽曳野市
【前　職】
メーカー勤務
自社ECサイト運営
【活動時期】
R7.9～R10.9

協力隊に応募したきっかけ

これまで、デザイナーやWEB等色々な仕事に携わってきましたが、地域おこし協力隊というものを知って、ただ働くだけではなく、自分の経験や知識を、誰かや何かの為に活かしたいという自分の思いとぴったりだと思い、縁あって伊佐市の地域おこし協力隊になりました。

今後の抱負･任期後の目標

伊佐市観光特産協会と連携して、伊佐市の観光や特産品等についての効果的な取り組みや情報発信、協会全体の新たな展開にも、携わっていきたいと思っております。

活動内容

●物産展等の出展

観光特産協会のサポート及び新たな展開の研究や取り組み、イベント等におけるPOP等の制作や物産展への出展等を行なっています。



●ホームページ制作

新たな観光特産協会ホームページの制作に着手し、地域外に向けた伊佐市の観光・特産品の効果的な情報発信の実施します。新たな観光プランの創出、グルメ等の掘起こしやブラッシュアップも行い、地域外からの収益アップを目指します。

●ふるさと納税サポート

ふるさと納税制度の返礼品の堀起こしやブラッシュアップ、返礼品の売れ筋分析や新たな特産品の開発、ラインナップの充実をはかり、効果的なPR、情報発信を行います。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））kei.yamasaki121@gmail.com
（電話番号（職場））0995-23-1311

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（観光特産協会iインスタ）

@ISA_KANKO_TOKUSAN

沖縄県粟国村　笹沼　誠（ささぬままこと）

商品開発・販売

～　粟国島の人とヤギを笑顔に　～

基本情報



【年　齢】
45歳
【出身地】
茨城県水戸市
【転出元】
茨城県水戸市
【前　　職】
事務職（自動車修理店）
【活動時期】R5.4～
R8.3

協力隊に応募したきっかけ

平凡な生活はそろそろ終わりにしようかな…自分本
位を見直し誰かのために…
そんな令和４年のクリスマスの夜
パソコンの画面に、ふと流れてきた協力隊応募バナー
その瞬間運命と思い、ポチっと「応募」ボタンをクリックしました
（粟国の読み方も、場所も風土もわからんのに）それが
協力隊の応募のきっかけです

今後の抱負・任期後の目標

任期後の目標は、引き続き粟国島の皆様の笑顔のために、一所懸命にお手伝いに励もうと思います
中でも、任期中に携わった特産品の生産販売やヤギ事業に力を注いでいきながら、島人の一員として末永く、生活していこうと思います

活動内容

●ゆるキャラ「アニーちゃん」グッズ開発



粟国村のゆるキャラ「アニーちゃん」を使った地域PRのために、アニーちゃんグッズ製作に取り組みました
＜販売用＞
・アニーちゃんボールペン　　・アニーちゃんクリアファイル
・アニーーちゃんTシャツ　　・アニーちゃんポロシャツ
＜島内設置＞
・記念写真撮影用アニーちゃんフォトスタンド



●狩猟免許取得

粟国村の野ヤギ対策に一役買おうと、狩猟免許の取得に励み、無事狩猟免許を獲得しました

●粟国島特産品「レトルトパック ヤギ汁製作」



粟国村の特産品として、粟国島産ヤギを考えて、いままであったヤギ刺し、ヤギ汁の生産販売の見直しや、ヤギ汁の販売促進のための「レトルトパックヤギ汁」を製作しました

連絡先

【連絡先】
（メールアドレス）a-chiiki1@vill.aguni.okinawa.jp
（電話番号）098-988-2258

【粟国村公式Facebook：左　粟国村公式インスタ：　右】

沖縄県粟国村　長村　憲和（おさむらのりかず）

商品開発・販売

～　島民の胃袋を優しいごはんで支える　～

基本情報



【年　　齢】
　51歳
【出身地】
　埼玉県川越市
【転出元】
　埼玉県川越市
【前　　職】
　調理員
　（農業大学校の学生寮）
【活動時期】
　R6.4～R9.3

協力隊に応募したきっかけ

沖縄県の地域おこし協力隊については、東京の「移住・交流情報ガーデン」で開催された募集説明会への参加がきっかけで知ることができました
応募を決める前に実際に島へ足を運びました
離島ならではの自然の豊かさや空気感を肌で感じましたさらに、島民の方々と直接お話しして「ここで頑張りたい!」という気持ちを強くしてから正式に応募させていただきました

今後の抱負・任期後の目標

島内には、食事を楽しめる場所が少ないと感じていますそこで、協力隊の任期を終えた後は、島民がホッと一息つける憩いの場となり、また、訪れた観光客が島の温かい味に触れられるような食事処を作れたらいいなと思っています

活動内容

● **特産品直売店 とび吉の運営改善**

村内の昼食難民対策や気候環境で孤立するときの対策として、とび吉は住民の胃袋を支える大切な存在!そのとび吉の人材不足解消打開と、とび吉の安定経営のために頭をひねり、汗水流しました



● **粟国村内イベント盛り上げお手伝い**

村内で開催されるイベント（ハロウィンやクリスマスパーティー等）の盛り上げ役として、島内の食材を使ったスイーツの提供などで一役買いました



● **粟国村 特産品開発**

粟国のお土産がないという観光客のお声を痛感し粟国な 、らではのお土産の検討開発に励みました
・島ピザ
・お母さん牛のハンバーガー



連絡先

【連絡先】
（メールアドレス）tobikichi@vill.aguni.okinawa.jp
（電話番号）098-988-2611

【粟国村公式Facebook:左　粟国村公式インスタ:　右】

沖縄県粟国村　四方　絢子（しかたあやこ）

商品開発・販売

～　POWERとIDEAで粟国島を笑顔に　～

基本情報



【年　　齢】
36歳
【出身地】
千葉県柏市
【転出元】
千葉県柏市
【前　　職】
接客業（飲食店店長）
【活動時期】
R6.10～R8.3

協力隊に応募したきっかけ

これまでSNS発信業務やイベント企画・運営・メニュー開発の経験を活かし、粟国村の宣伝部長になりたいと思いました。何事も一人ではできません。前職でも生産者の方々や地域の方々、スタッフの皆と力を合わせひとつのものを作り上げ、集客・売上に繋げてきました。粟国村の方々と一緒に粟国村の魅力を多くの方々に伝えられるように精一杯務めて行きたいという思いとなったのが、応募のきっかけです。

今後の抱負・任期後の目標

粟国村の特産品の開発等をし、粟国島を盛り上げるご協力が出来ればと思います。島の文化や風習など、まだまだわからない事が多いので、皆さんとたくさん交流し、どんどん島の事を吸収していきたいと思います。「人生いつ何が起こるか分からないから後悔しない人生を送る!」精神で出会いを大切に、何事にも全力で精一杯頑張ろうと思います。

活動内容

● 粟国の特産品をPR



那覇市で行われた離島フェア2024に参加し、粟国島の特産品を販売PRお手伝いをしました
（もちきびかりんとう、ソテツ味噌など）
島内のみでの販売ということもあって、あっという間に売れ行く品々を見て、島での販売方法宣伝方法の課題を垣間見ることとなりました

● 粟国村内イベントお手伝い①



村内で開催されるイベント（ハロウィンやクリスマスパーティー等）の盛り上げ役として、島内の食材を使ったスイーツの提供など、会場の盛り上げに一役買いました

● 粟国村内イベントお手伝い②



餅つき体験会や島コン等に携わらせていただき、島内外の方と交流し、参加者の皆さんからお話を聞くことができ、どのようなものを望んでいるか求めているのか（お弁当、スイーツ、飲食店などの食事関係、季節ごとのイベント等）とても勉強になりました

連絡先

【連絡先】
（メールアドレス）tobikichi@vill.aguni.okinawa.jp
（電話番号）098-988-2611

【粟国村公式Facebook:左　粟国村公式インスタ:　右】

沖縄県国頭村　和田　佳浦

商品開発・販売

～　とうもろこしを生産し、タコスを村の特産品に！　～

基本情報



【年 齢】 ４９歳
【出身地】
埼玉県入間市
【転出元】
埼玉県入間市
【前　職】
スペイン語講師
【活動時期】
R５.９～R８.３

協力隊に応募したきっかけ

協力隊インターン制度を利用して、国頭村に１ヵ月滞在し、農業のお手伝いをしたところ、メキシコのとうもろこし（タコスの皮の原料）に興味をもった農家さんに、協力隊になってみないかと提案された。自身のメキシコでの経験が村のためになるとは考えていなかったが、とうもろこし生産やトルティージャ作りを通して村おこしができ、1カ月の滞在を通して好きになった村に移住することができるのであれば、と応募させていただいた。

今後の抱負･任期後の目標

自分の畑でとうもろこしを栽培し、トルティージャ等の加工品（タコス、トルティージャなど）を手作りし、販売していきたい。また、日本ではタコスの皮を粒から煮て作るブームがまだ！来ていないので、パン作りや味噌づくりなどと同様に、少し手間をかければ本物の美味しいトルティージャやとうもろこし料理ができることを広めていきたい（YouTubeなどを活用予定）。同時に、沖縄県でとうもろこし生産を促進し、村や県の特産品に育てたい。

活動内容

●活動内容［1年目］とうもろこしの試験栽培とクラファン！

日本で普及しているスイートコーンとは異なり、穀物系のとうもろこし生産は初めての農家さんに、種探しから土作り、栽培、収穫までをサポート。メキシコで畑仕事もしていたが沖縄での農業も同時に学ぶことができた。農家さんのため、クラウドファンディングにも挑戦し、農機具購入の資金を集めた。



●活動内容［２年目］とうもろこし加工と本格生産

穀物系とうもろこしは収穫（４～５月）後の管理が重要、乾燥から保管までの課題などを観察。次に、メキシコの品種とは少し異なるトウモロコシで加工できるのか試行錯誤を繰り返した。試験栽培は成功したので、冬から農家さんの畑で本格栽培の開始。トウモロコシ栽培の実践・観察・記録に努めた。



●活動内容［３年目］起業準備、商品開発、イベント出店

農家支援を主とした1年半の活動や経験を経て、退任後に何ができるかを本気で考え始め、イベント出店など貴重な経験をさせてもらった。村産とうもろこしを使ったタコスを試験的に販売し、多くの方に食べていただき自信も出たが、課題も実感。事業として成立させるための取組みと試行錯誤を続けている。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））kunigami.tacos@gmail.com
（電話番号（個人））080-5501-7528
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】